平成 21 年 10 月 23 日

各　　位

会 社 名　日本合成化学工業株式会社
代表者名　取締役社長　小笠原　憲一
（コード番号 4201 東証１部・大証１部）
問合せ先　取締役総務人事部長　赤木　淳一
（ＴＥＬ．06-6440-5300）

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 8 月 6 日に公表した業績予想および平成 21 年 5 月 8 日に公表した１株当たり配当予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．業績予想の修正

(1) 平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間
連結業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）　（単位：百万円）

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
前 回 発 表 予 想 （Ａ）	44,000	4,200	3,900	2,200	22 円 58 銭
今 回 修 正 予 想 （Ｂ）	44,900	5,500	5,100	2,900	29 円 77 銭
増　減　額（Ｂ－Ａ）	900	1,300	1,200	700	―
増　減　率	2.0%	31.0%	30.8%	31.8%	―
（ご参考）前期第 2 四半期実績（平成 21 年 3 月期第 2 四半期）	54,001	3,076	2,296	1,300	13 円 35 銭

(2) 平成 22 年 3 月期通期
連結業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）　（単位：百万円）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前 回 発 表 予 想 （Ａ）	91,000	7,200	6,500	3,600	36 円 95 銭
今 回 修 正 予 想 （Ｂ）	89,000	9,500	8,800	5,000	51 円 32 銭
増　減　額（Ｂ－Ａ）	△2,000	2,300	2,300	1,400	―
増　減　率	△2.2%	31.9%	35.4%	38.9%	―
（ご参考）前期実績（平成 21 年 3 月期）	100,961	4,382	2,070	923	9 円 48 銭

(3) 平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間
個別業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）　（単位：百万円）

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
前 回 発 表 予 想 （Ａ）	29,000	2,800	2,900	2,000	20 円 53 銭
今 回 修 正 予 想 （Ｂ）	30,000	4,100	4,100	2,900	29 円 77 銭
増　減　額（Ｂ－Ａ）	1,000	1,300	1,200	900	―
増　減　率	3.4%	46.4%	41.4%	45.0%	―
（ご参考）前期第 2 四半期実績（平成 21 年 3 月期第 2 四半期）	―	―	―	―	―

(4) 平成22年3月期通期
個別業績予想数値の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）　（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	58,000	4,500	4,500	3,000	30円79銭
今回修正予想（B）	59,000	6,600	6,600	4,300	44円14銭
増減額（B－A）	1,000	2,100	2,100	1,300	—
増減率	1.7%	46.7%	46.7%	43.3%	—
（ご参考）前期実績（平成21年3月期）	56,473	2,133	954	375	3円85銭

(5) 修正の理由
国内外の景気刺激策による液晶関連製品をはじめとする販売量の増加および継続的なコスト削減策の効果により、第2四半期累計期間の損益が前回予想を上回ることが見込まれるため、第2四半期累計期間の連結および個別の売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益を修正いたします。
また、通期の連結および個別の業績につきましても、足元の状況を勘案し、同様に売上高、営業利益、経常利益、当期純利益を修正いたします。

２．配当予想の修正
(1) 修正の内容

	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	0.00	7.00	7.00
今回修正予想	4.00	4.00	8.00
当期実績			
前期実績（平成21年3月期）	0.00	7.00	7.00

(2) 修正の理由
当社の配当政策に関する基本方針は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つとして認識し、将来の事業展開に備えるための内部留保の確保や企業体質強化を図りつつ、中期的な経営環境の変化、連結ベースでの業績動向を踏まえた配当を行うこととしております。
平成22年3月期の配当につきましては、好調な上半期および通期の連結業績予想を勘案して、前回発表予想では予定しておりませんでした中間配当（1株当たり4円）を行う予定であります。また、年間配当金は、現時点では前回予想に比べ1円増額の8円とする予定でありますが、第3四半期以降の業績および来年度以降の見通しを踏まえ増額も検討いたします。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以　上